

平成31年度 学校経営計画 足立区立第六中学校

学校長 柏木 圭子

1 学校教育目標

- 自ら学び目標をもって努力しよう
- 互いに尊重し助け合おう
- 困難に耐え心と体を鍛えよう

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力を身に付けさせる学校 ・心身ともに健やかな生徒を育てる学校 ・生徒、保護者、地域から信頼される学校
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・目標をもち、自ら進んで学習に取り組む生徒 ・礼儀や思いやりを大切に、規律ある行動ができる生徒 ・心身ともに健康で、何事にも一生懸命に取り組む生徒
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善に向け、日々研究・実践に努める教師 ・生徒一人ひとりを理解し、生徒の健全育成に努める教師 ・教育公務員としての自覚と誇りをもって職務に励む教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

○学校について

〔よさ〕落ち着いた雰囲気の中で日々の教育活動が行われている。

〔課題〕新学習指導要領の理念をさらに具現化する教育活動を推進する。

○生徒について

〔よさ〕素直に指導を受け入れ、成長しようとする生徒が多い。

〔課題〕学習や諸活動において、より高い目標をもって挑戦する姿勢を養う。

○教師について

〔よさ〕授業改善に向け努力するとともに、学校全体で協力して課題解決しようとする集団である。

〔課題〕教育課題に対し、組織的な解決をさらに推進する。

【前年度の成果と課題】

【成果】○「授業がわかる」「勉強が好きだ」「学校が好きだ」と感じている生徒が増加した。

○保護者・地域と連携し、教育活動に取り組んでいる。

○不登校生徒を減少させるとともに、関係諸機関との連携を推進することができた。

【課題】○生徒が自らの課題を見つけ、自主的に学習に取り組もうとする姿勢を身に付けさせる。

○新学習指導要領を見据えた授業改善を進める。

○基本的なコミュニケーション能力を向上させ、人間関係のトラブルを防止する。

4 重点的な取組事項

番号	内容	実施期間				
		29	30	31	32	33
1	学力向上	○	○	○	○	○
2	生徒の健全育成	○	○	○	○	○
3	関係小学校や家庭・地域との連携	○	○	○	○	○

5 平成31年度の重点目標

重点的な取組事項－１		学力向上
A 今年度の成果目標		平成３１年度区学力調査目標通過率と年度末の到達目標
自ら考え、学ぶ生徒の育成		年度当初 区平均通過率、区平均正答率を目指す 年度末 正答率 ４月に実施した正答率以上
B 前年度の取組み内容		
項目	具体的な方策	
「授業が好き」増加作戦	生徒が主体的に学ぶ授業に改善を図り、授業が好きといえる教科を増やす。	
朝学習 週末テスト	計画的に漢字、計算問題、英単語など５教科の基礎的なドリル学習を行う。週末テストで朝学習のまとめテストを行い、相互採点させる。	
放課後補充教室	つまずきのある生徒を中心にできる限りの個別指導とし、学力、学習意欲の向上を目指す。 ８月までに前学年の内容、９月から当該学年の内容を取り扱う。	
サマースクール	区学力調査の結果を基に前学年の既習内容の復習に重点をおき、各自のつまずきの解消を図る。	
学習コンテスト	３年間で履修すべき内容を学年別の課題に取り組む。	
土曜学習講座	授業内容の復習を基盤としながら、問題の解答力を身に付ける。また、数学・英語検定において、各自が目標とする級の取得を目指す。	
家庭学習の習慣化	「家庭学習ガイドブック」「自主学習ノート」を活用し、主体的な学習態度を形成する。	
C 前年度の成果と課題		
・チャイム着席、学習の準備、授業規律の確保など落ち着いた学習環境を保つことができた。 ・足立スタンダードに基づいた授業改善に努め、教員の授業力の向上に取り組んだことで、「授業がわかる」「勉強が好きだ」「学校が好きだ」と感じている生徒が増加した。 ・家庭学習の習慣化について具体的に取り組み方を指導した。 ・全校で一斉に学習コンテストを実施し、学習への気運を高められた。 ・主体的に学習や学校行事に取り組み、課題に挑戦する姿勢を養うことが課題である。		
D 今年度の目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
別紙 「平成 31 年度 学力向上アクションプラン」参照		

重点的な取組事項－２		生徒の健全育成
A 今年度の成果目標		達成基準
生徒が秩序と主体性をもって行動できる学校づくり		各行事のアンケートの関連項目で肯定的回答 80%以上
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
基本的な生活習慣の徹底	登校時間、チャイム着席、あいさつ等を守る落ち着いた学校の実現を図る。	生活委員によるあいさつ運動やチャイム着席の点検をとおして時間を守った生活ができるようにさせる。
主体的に考え、行動できる生徒の育成	各行事のアンケートにおいて、生徒の主体性、達成感に関する項目で肯定的回答 80%以上。	生徒会活動や学校行事、学年行事を生徒の実行委員会が中心となって運営できるよう指導する。
道徳教育の推進	各学年で検討した共通の指導計画での道徳授業を年 2 回実施する。	道徳教育推進教師を中心とした組織体制をもとに、各学年で指導案を検討し、「考え、議論する道徳」を目指す。
いじめ、不登校への対策	年間 30 日以上長期欠席者数の昨年度比 10%減といじめの根絶を目指す。	特別支援委員会の週 1 回開催と充実とともに、家庭、教育相談センター、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等との連携を図る。 年 3 回のいじめアンケートに加え、長期休業明けのアンケート実施により、生徒の心の声を丁寧にキャッチする。

重点的な取組事項－３		関係小学校や家庭・地域との連携
A 今年度の成果目標		達成基準
保護者・地域から信頼される学校づくり		学校評価アンケートにおける関連項目の満足度を 80%以上
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
小中連携	小学校との年間 7 回の合同研修会や新学習指導要領に関する研修会などを開催する。	教科別の分科会を設定することにより、新学習指導要領の理念に基づいた授業改善、健全育成に役立つ内容とする。
家庭との連携	学校評価アンケート関連項目で肯定的回答 80%以上	月 1 回発行する学校だよりやホームページをとおして学校の情報を細かく発信し、保護者と教員の信頼関係を強固にする。
地域との連携・協力	地域行事に年 1 回以上参加する生徒、教員が 6 割以上	六中マルシェ、地域運動会、荒川ウォーク、住区まつり等への参加をよびかける。